

# 牛は妊娠していても発情みたいな行動をする

釧路中部事業センター 虹別家畜診療所 獣医師 石川 行一

授精師「黄体あるから人工はできないね。獣医さんに診せたほうが

〜5月6日

〜数日後

組合員「この前人工できなかったんだ。授精師さんに獣医さんに診

せてといわれたのよ」

獣医師「黄体あるね。前に人工してる？」

組合員「してる」

獣医師「いつだったの？」

組合員「25日くらい前だったよ」

獣医師「妊娠してるかもしれないから、10日後ぐらいにエコーで診て

みるかな」

〜10日後

獣医師「いるわ。よかったね」

このような経験はありませんか？牛は妊娠していても卵巣は動いています。たまにホルモンの関係で発情みたいな行動を見せることがあります。発情を発見したと

きは、人工授精の有無と前回の人工授精月日を確認しましょう。その情報は人工授精師、獣医師に伝えてください。

20年ほど前に、一度人工授精し

ている牛が発情をみせた時にどのくらい妊娠しているのか？また、それは本当の発情であったかを調べた方々がいます。

その結果、約19%の牛が発情ではない時または妊娠している牛に人工授精をしていたということがわかりました。そのうちの17%は流産したり、胚死滅したそうです。つまり、一度人工授精した後、再度人工授精した牛が100頭いるとすると約19頭が間違って人工授精されているということです。同じ報告の中で、イスラエル（実は乳牛の飼養頭数がすごく多い）では、人工授精師が非常に訓練されていて、発情を見極めているそうです。再人工授精の時に約16%の牛を人工授精しなかったのですが、そのうち約95%は発情ではなかったそうです。また、再人工授精を

しなかった牛の44%は妊娠していたそうです。

真の発情かどうかの見極めは、難しいと思います。獣医師または人工授精師に相談してください。当組合の改良課では、現在、同じようなことを調査中です。結果のご報告ができればと思っております。

